

**【表紙】**

**【提出書類】** 四半期報告書

**【根拠条文】** 金融商品取引法第24条の4の7第1項

**【提出先】** 北陸財務局長

**【提出日】** 平成25年8月13日

**【四半期会計期間】** 第102期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

**【会社名】** 小松精練株式会社

**【英訳名】** KOMATSU SEIREN CO.,LTD.

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 池田哲夫

**【本店の所在の場所】** 石川県能美市浜町又167番地

**【電話番号】** 0761-55-1111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 管理部門長 早瀬智

**【最寄りの連絡場所】** 石川県能美市浜町又167番地

**【電話番号】** 0761-55-1111(代表)

**【事務連絡者氏名】** 管理部門長 早瀬智

**【縦覧に供する場所】** 株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第101期 第1四半期 連結累計期間	第102期 第1四半期 連結累計期間	第101期
	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	8,752	9,260	35,905
経常利益 (百万円)	397	551	1,810
四半期(当期)純利益 (百万円)	202	466	1,200
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	7	576	1,802
純資産額 (百万円)	29,938	31,806	31,574
総資産額 (百万円)	42,638	43,490	42,952
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	4.74	10.88	28.04
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	68.14	71.00	71.46

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。  
 2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。  
 3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

#### 2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社及び当社の関係会社が営んでいる事業の内容に重要な変更はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1)業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による金融緩和及び経済政策により、円安・株高へ転じ全体としての景況感は回復の兆しを見せました。しかし欧州は経済的に厳しい状況が続いており、中国や新興国なども景気拡大基調は弱まりました。また、エネルギーや原材料価格の上昇などもあり、全体としては低調に推移しました。

このような状況のなか、当社グループは独自技術で優位性を発揮することに注力し、持続的な成長を図るため環境変化に応じた開発に経営資源を投入しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、9,260百万円（前年同期比5.8%増）となり、営業利益は333百万円（前年同期比9.1%増）、経常利益は551百万円（前年同期比38.5%増）、四半期純利益は子会社合併による税効果もあり466百万円（前年同期比130.8%増）の増収増益となりました。

事業のセグメント別状況は以下の通りであります。

#### 繊維事業

衣料ファブリック部門は、当社の得意とする高感性・高機能素材の開発と市場導入の積極的な推進により、ファッション衣料を中心に堅調に推移し増加しました。しかしながら、スポーツ衣料は海外市場の持ち直しの兆しはあるものの国内外とも総じて苦戦が続いており、また、民族衣装は市場の低迷を受け減少しました。

資材ファブリック部門は、医療・福祉のメディカル分野が堅調に推移し増加したものの、その他の分野は減少しました。また、超微多孔スポンジ状セラミック基盤「グリーンビズ」は、用途開発や環境市場への活用提案を積極的に行い、着実に市場認知度を高めています。

製品部門は、株式会社パizzoの買収により売上高は前年同期比189.7%増と大幅に拡大しました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の当事業の売上高は8,998百万円（前年同期比5.6%増）セグメント利益（営業利益）は292百万円（前年同期比8.9%増）となりました。

#### その他の事業

物流分野が堅調に推移し、当第1四半期連結累計期間の当事業の売上高は261百万円（前年同期比15.1%増）となり、セグメント利益（営業利益）は39百万円（前年同期比17.4%増）となりました。

#### (2)研究開発活動

当第1四半期連結累計期間の研究開発費の総額は175百万円であります。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	43,140,999	同左	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数は1,000株であります。
計	43,140,999	同左		

(注)完全議決権株式であり、権利内容に何ら限定のない株式であります。

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年6月30日		43,140		4,680		4,720

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、直前の基準日である平成25年3月31日の株主名簿により記載しております。

【発行済株式】

平成25年3月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 246,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 42,569,000	42,569	
単元未満株式	普通株式 325,999		
発行済株式総数	43,140,999		
総株主の議決権		42,569	

【自己株式等】

平成25年3月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 小松精練株式会社	石川県能美市浜町又167番地	246,000		246,000	0.57
計		246,000		246,000	0.57

(注) 株主名簿上は当社名義となっておりますが、実質的に所有していない株式が1,000株(議決権1個)あります。

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】  
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>		
現金及び預金	7,361	7,086
受取手形及び売掛金	1 7,728	1 7,477
有価証券	3,940	4,630
商品及び製品	2,063	2,512
仕掛品	889	934
原材料及び貯蔵品	1,968	1,993
繰延税金資産	257	454
その他	380	200
貸倒引当金	51	46
流動資産合計	24,537	25,244
<b>固定資産</b>		
有形固定資産	7,896	7,875
無形固定資産	239	243
<b>投資その他の資産</b>		
長期預金	1,000	1,000
投資有価証券	7,370	7,294
繰延税金資産	810	825
その他	1,116	1,021
貸倒引当金	17	15
投資その他の資産合計	10,279	10,126
固定資産合計	18,414	18,245
資産合計	42,952	43,490

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 5,176	1 5,332
短期借入金	251	250
未払法人税等	357	334
賞与引当金	343	188
その他の引当金	18	10
その他	1,093	1,454
流動負債合計	7,241	7,571
固定負債		
退職給付引当金	3,419	3,384
役員退職慰労引当金	516	503
環境対策引当金	11	11
その他	189	213
固定負債合計	4,136	4,112
負債合計	11,378	11,684
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,680	4,680
資本剰余金	4,720	4,720
利益剰余金	20,949	21,018
自己株式	108	109
株主資本合計	30,242	30,309
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	548	526
為替換算調整勘定	98	41
その他の包括利益累計額合計	449	568
少数株主持分	882	928
純資産合計	31,574	31,806
負債純資産合計	42,952	43,490



(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	8,752	9,260
売上原価	7,216	7,243
売上総利益	1,536	2,017
販売費及び一般管理費	1,230	1,683
営業利益	305	333
営業外収益		
受取配当金	61	62
為替差益	-	48
持分法による投資利益	40	40
その他	56	68
営業外収益合計	158	220
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	49	-
その他	15	2
営業外費用合計	65	2
経常利益	397	551
特別利益		
固定資産売却益	0	1
投資有価証券売却益	67	0
特別利益合計	67	1
特別損失		
固定資産除却損	2	1
投資有価証券売却損	86	-
臨時損失	-	2
特別損失合計	88	3
税金等調整前四半期純利益	376	548
法人税、住民税及び事業税	257	320
法人税等調整額	62	201
法人税等合計	194	118
少数株主損益調整前四半期純利益	182	430
少数株主損失( )	19	36
四半期純利益	202	466

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	182	430
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	304	21
為替換算調整勘定	129	222
持分法適用会社に対する持分相当額	-	54
その他の包括利益合計	175	146
四半期包括利益	7	576
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	20	530
少数株主に係る四半期包括利益	28	45

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。  
 なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	162百万円	92百万円
支払手形	275 "	37 "

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)、のれんの償却額及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	299百万円	289百万円
のれんの償却額	8 "	
負ののれんの償却額	1 "	1 "

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月22日 定時株主総会	普通株式	255	6.00	平成24年3月31日	平成24年6月25日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (百万円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年6月27日 定時株主総会	普通株式	343	8.00	平成25年3月31日	平成25年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの  
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,525	227	8,752		8,752
セグメント間の内部売上高 又は振替高	18	424	442	442	
計	8,543	651	9,195	442	8,752
セグメント利益	268	33	302	3	305

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。  
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	繊維事業	その他の事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	8,998	261	9,260		9,260
セグメント間の内部売上高 又は振替高	29	445	474	474	
計	9,028	706	9,735	474	9,260
セグメント利益	292	39	332	1	333

- (注) 1 セグメント利益の調整額は、すべてセグメント間の取引調整であります。  
2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	4円74銭	10円88銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(百万円)	202	466
普通株主に帰属しない金額(百万円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(百万円)	202	466
普通株式の期中平均株式数(千株)	42,638	42,893

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月12日

小松精練株式会社  
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 浜 田 亘

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 秋 山 高 広

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている小松精練株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、小松精練株式会社及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。  
以 上

- 
- (注) 1．上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。  
2．四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。